

わが校の特色ある教育

小林市立永久津小学校

校長 吉井 秀一

1 はじめに

今から 51 年前に編集された創立 100 周年記念誌に、明治 42 年度卒業生が「母校の思いで」として次のような記述を残しています。

「子どもの頃祖父の話では、「種子田（たねだ）学校当時は、～（中略）～永久津移転後将来先生への謝礼、設備費に困らぬようにと、毎月各戸鶏卵二個宛集めて貯金し、各個人貸付とし毎年一月利子集めをして学校設備費の助成をした。」（原文のまま抜粋）



（校舎の時計台は学校のシンボル）

明治から続いたこのような取組は、その後昭和 33 年に「永久津校区教育振興会」に引き継がれ、67 年たった現在もその活動は継続されています。創立当時から地域に愛され、支え続けられた本校は、令和 6 年に創立 150 周年の記念行事を終えて、今、新たな歩みを始めたところです。

2 学校の概要

本校は、小林市の中心市街地から北西に車で約 10 分の丘陵地帯に位置し、運動場から南に霧島連山を広く眺めることができます。令和 7 年度は、3・4 年生を複式学級とする 6 学級（特別支援学級 1 学級）、児童数 55 名でスタートしました。地域をあげて大事にされている子どもたちは、少し幼いところがありますが、素直で明るくのびのびと育っています。平成 25 年に導入されたコミュニティ・スクールの取組も定着し、学校運営協議会での評価や協議を踏まえながら、PTA やまちづくり協議会と協働で学校を核とした地域づくりが盛んに行われています。

3 特色ある教育活動



地域の「岡原田の神踊り」
（めしげ踊り）の伝承



令和 7 年度はタレントさんの
ゲストも参加した田植え活動



クリスマスにはトラクターで
サンタが来校（まちづくり協議会）



永久津中学校（生徒 31 名）
との合同運動会



地域の清流に生息する
ホタルの観察会



教育振興会の活動が
令和 6 年度県教育長表彰

4 おわりに

小林市では急速に進む少子化を踏まえ、学校再編を視野に入れた今後の学校の在り方を検討する会議や意見交換会が始まっていますが、新しい時代を迎えても、子どもたちの健やかな成長を願う地域の思いは変わらないでしょう。今後も、これらの期待に応え、ともに子どもを育む存在として、特色ある学校づくりに努めていきたいと思ひます。